

# 新潟ジュニアドクター育成塾

R5.1.29 No.14

## 新潟ジュニアドクター育成塾 令和4年度修了式

積雪や道路状況により当日オンライン参加となった受講生はいましたが、幸い降雪は心配したほどではなく、無事修了式を挙行することができました。格式ある新潟大学医学部有壬(ゆうじん)会の有壬記念会館をお借りしての修了式は、凜とした雰囲気の中で進行しました。牛木学長からは、「新潟ジュニアドクター育成塾で学び、「自然と人の共生」や世界で起きていること、環境問題、SDGsなどについて考え続けてきたことを糧に、これからも知的好奇心をもち続けて日本や世界を牽引するリーダーになって欲しい。」との力強いメッセージをいただきました。大鳥学部長からは「受講生が高い意欲をもって学んでいる姿、生態系や自然環境など様々な科学的事象に高い関心をもってしている姿に感銘を受けていた。今後新たなステージでも、世界で起きていることに関心をもち、能力に磨きをかけ、リーダーとして活躍していてもらいたい。」とのお話をいただきました。各プログラムを代表して2名の受講生がスピーチを行いました。2人とも、新潟ジュニアドクター育成塾で学んで気がついたことや成長したこと、自分で探究したこと、受講生に伝えたいことを、指導いただいた先生方への感謝の言葉を交えながら、心をこめて発表していました。



修了式後には交流会を行いました。昨年度、一昨年度のドクタープログラム修了生4名にも参加していただき、現在取り組んでいる研究などについて紹介してもらいました。続いて、昨年11月に開催された「サイエンスカンファレンス2022」において新潟ジュニアドクター育成塾を代表して発表した2名の表彰式を行いました。また、各プログラムを代表して2名の受講生から、取り組んでいる研究について発表してもらいました。自身がこだわって続けてきた研究内容だけに、説得力があり、聞き手の研究意欲を高める発表でした。

<代表者>

○代表の言葉

ドクタープログラム 横山 久楽々さん

マスタープログラム 木村 龍眞さん

○サイエンスカンファレンス2022表彰

小田 直太郎さん (特別賞「アイデア賞」受賞)

佐藤 悠雅さん (特別賞「アイデア賞」受賞)

○代表発表

ドクタープログラム 小林 茜里さん

(いきいきわくわく科学賞2022小学校高学年の部「県知事賞」受賞)

マスタープログラム 來迎 一彰さん

(第39回小・中学生作品コンクール小中学生理科部門「文部科学大臣賞」受賞)



※この取組は、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)による「ジュニアドクター育成塾」事業(2019年度~2023年度)に採択されています。